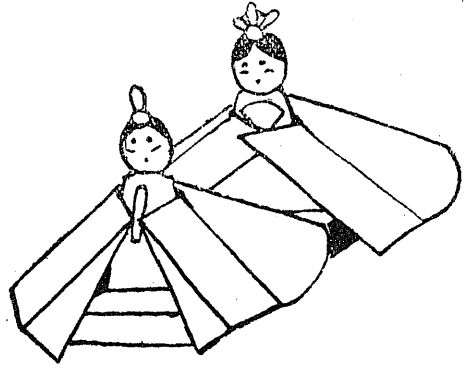


友のしい あしごこ

(おひなさま)



及川ふみ

三月の季節の材料として、おひなさまをと
りあげよう。年中行事の中でも、ひなまつり
は家庭でも、最もよくとりいれられて、こと
ものよろこぶ行事の一つである。年々に家庭
で身近かに、多くの経験をもち、又おもちや
や或るデパートなどに飾られているものを見
ることも多いので、比較的豊かに製作の資料
をもつことであろう。

又一方幼稚園として考えても、小学校へ進
学する直前の時期でもあつて、ことも達の幼
稚園生活の成熟期とも云うか、製作に對す
る意欲も盛んで、ものの形や、色に對しても
ことも各自がそれぞれにその創意と工夫の出
来る時期でもあるので、それ等のよき発表の
機会であるとも考えて、この材料をとりあつ
かつてみたい。

一、こどもだけでつくる ひなかさざり

おひな、めびな、をはじめ、ひなかさざり一
式を、こどもだけで、つくるゆき方。

これは最もものぞましいことである。どんな
形、どんな色どりが出来るか、ほほえまし
いものが見られることであろう。

これには先生の方で用意されたいことは、
去年の記憶を新らしくよびおこすために、
保育室に早々とひな人形を飾ること、近く
のおもちやや、或はデパートなどにひな人

形の見学につれていくこと。製作に使われ
そうな、様々の材料を豊かに準備されて、
こどもたちが自由に使える様にしておくこ
と。

二、おひなさまだけを先生と協力して作るゆ
き方

ひな飾りの中心となる、おひな、めびな
だけ大人の協力によつて作る。

これにも作る難易の程度は様々であるが、
今年こころみに作つたものについて

〔工作圖一〕

おひな

着物は、二つの四角の、のりつけの部分
をのぞいて、色、模様はそれぞれこのみに
応じてかかせる。

胴のしやくの周囲も、上衣の一部分であ
るから、着物と同様にすること

しやくの下の三角形の部分と、点線の二
こまは下ばきであるから、着物と同系のう
す色無地にすること

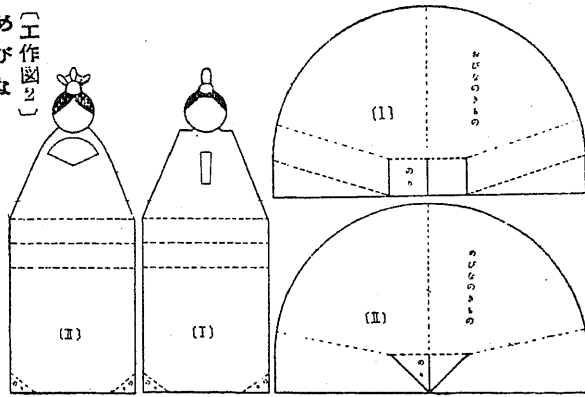
袖口の部分は赤にする

組み合せ

着物の中央の四角を二つ重ねて、糊つけ
にする。

胴の部の、上の一の点線は凹に折り下
の二、三、の点線は凸に折る。顔のあごの下

を、着物の四角の頂点につける。
 兩袖の上の端を、しやくでつき合せに
 なる様に盛く糊でつける。



〔工作図〕
 めびな

着物はおびな同様に三角の部分のをのぞいで、色をぬり、模様をかく。

胴は扇の周囲を上着の一部分として、着物と同様の色や模様をつける。

扇の下の三角形の部分と、点線二こまは

緋の袴であるから赤くぬる。
 組み合せ

着物の、三角と三角とを糊ではり合せ、その頂点に、顔のあごの部分をはり合せる。兩袖の上の端を扇の下でつき合せにする、顔はこども自身でかかせる。

おびな めびな は大人の協力によつて作られたとして、台、屏風、さくら、たちばな、ひしもち、諸道具、御馳走、など次につくられると予想される品々である。

$\frac{1}{3}$ に縮尺
 材料について考えたいことは、画用紙、ボール紙だけに限らず、そのものの表現に都合のよい材料であること、手近かに容易にえやすい材料であれば何でもよいのである。草木の枝、実、貝がら、マツチ、タバコの空箱、など何でもよい。

たとえばおひなさまの台には、ボールの空箱の蓋がよい。高さ一センチから二センチ位のものが適當である。一つを おびな めびなの二個に切つて使つてもよい。紙のかたさでも、画用紙などで作つたものより丈夫に出来て、色をぬつたり、色紙をはつたりして美しい台にすることが出来る。

又、さくら たちばな などは、小さい木の枝に花や、みをはりつけて、クリームの空瓶などにさしてもよいし、はまぐりや、その

他の貝がらに色をつけて、御馳走の器にしても美しいものである。マツチ、タバコ、の空箱を組み合せて、たんすや、小箱の調度品とするのも簡単に面白いものが作られる。

こどもと一緒に、これ等の材料をいじつていける間には、大人の及びもつかない面白いものを考え出すことがある。製作の指導などとは大げさなことを大人が云うけれども、こどもと一緒に何か作つて遊んでいるうちに、大人がいづれいつか教えられることが多い。こどもの部屋に入つていつか一緒に遊んでいるということは、一つにはこどもから大人が教えられているのだと云うことにもなるのである。

保育室の一隅に、共同製作として、つくられた ひなかがり をこどもたちがみるとき組全体の誰もが、自分で作つたおひなさまとしてよるこびに満ちた気持と、自分のおひなさまとしての親しみと大切さを、よくよく感じると思われる。そうしてお友達と一緒につくつたと云う協力の美しい気分も、そこに自然に湧きおこることも予想されて、ひなまつりの美しい、そして暖たかい感情のうるおびに包みながら、こどもたちと一緒に遊ぶびとして、このひなつくりをしてみたいものである。